

第15回 (昭和58年度) 日本映画照明技術者協会

照明技術賞

劇映画部門 最優秀照明賞 梶山節考 (東映・今村プロ作品)

担当 岩木保夫

C.M部門 最優秀照明賞 日軽金 アルミはファッショナブル (学研クリエイティブ作品)

担当 佐藤吉彦

V.T.R部門 優秀照明賞 愛にめぐりあう予感 (ピー・ディー・エス作品)

担当 大塚基夫

CM部門 特別賞 資生堂 おしゃれCM (オフィス トゥーワン作品)

担当 蜂谷道雄

協会賞 河野愛三 (本部会員)



アルミはファッショナブル



梶山節考



愛にめぐりあう予感

アルミはファッショナブルが

照明賞にノミネートされて……

三和照明 佐藤 吉彦

日軽金の仕事のTELがあり、学研クリエイティブに行き、コンテをもらったと同時に、この仕事はたいへんだなァ!! うまく撮影が出来るか、とても不安になりました。

アルミが生活空間の中で、重要な役割を果たしている今日、その中でいかに、日常生活の中にとけこんでいるかという実情を考えると、こんどの仕事の不安はつのるばかりでした。

セットプランには、アルミの特性を生かした、直線曲線美、等のつくりものがあり、床にもアルミが敷い

てあり、ちょっとみた目には、宇宙空間(?)という様な感じでした。いざ……撮影当日……アルミは、写しの強弱によってその美しい、しなやかな特性が出てくるものなので、その写しのライティングにとても苦労しました。

広いセットの中で、写しの角度にライトが入れず、なんとか商品の裏側や水平線の真下とか、角度を捜すのにたいへん苦労しました。入射角だけのライティングと違い反射光(人物は除く)だけのライティングなので、撮影部さんとの協同作業となり1 cut. ずつたいへん時間がかかりました。どうにか徹夜で終り、翌日のラッシュを見る時は、とても不安でした。たいへんな仕事の割には、僕としてはマママの出来なので安心しました。

また、チャンスがあれば違ったイメージの、アルミの表現が出せたらとも思っています。